

[平成25年度設置]

計画の区分：短大学科の設置

注1

届出

札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人札幌大学  
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画室

職名・氏名 ショカン ミヤハラ 翠哉  
主幹 宮原 翠哉

電話番号 011-852-9100

（夜間） 011-852-1181

F A X 011-856-8290

e-mail miyahara@ofc.sapporo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人札幌大学

## (2) 大学名

札幌大学女子短期大学部

## (3) 大学の位置

〒062-8520

北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サトウ トシオ) 佐藤 俊夫 (平成21年8月20日)		
学長	(クワバラ マサト) 桑原 真人 (平成23年4月1日)		
学部長			
学科長	(カゲヤマ ヒロユキ) 景山 弘幸 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)  
平成25年度に報告する内容 → (25)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
キャリアデザイン学科 短期大学士(教養)	2年	80人	- 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	80人	人	( )	( )	0.52倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	[ ]	[ ]		
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	75	( - )	( - )	( - )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	75	( - )	( - )	( - )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	72	( - )	( - )	( - )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	41	( - )	( - )	( - )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
入学定員超過率 B/A							0.52					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ ]		[ ]		[ ]		[ - ]	[ ]	
							40		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	1人	0人		
平成25年度 入学者	41人	1人	平成25年度	1人	0人		0.0243902 %
合計	41人	1人					0.0243902 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要  
 <キャリアデザイン学科>  
 (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
教養科目	思想と文化	哲学のすすめ	1・2前	2								履修希望者がいなかったため	
		倫理と社会	1・2後	2									
		世界の文学	1・2前	2									履修希望者がいなかったため
		歴史と文化	1・2前	2									
		日本の歴史	1・2前	2			1						
	小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0			
	社会と人間	くらしと経済	1・2後	2			+						
		くらしと社会	1・2後	2									
		女性のための法律	1・2後	2			1						
		小計 (3科目)	—	0	6	0	2	0	0	0	0		
	自然と人間	自然と人間	1・2前	2									
		環境といのち	1・2後	2									
		生物の社会	1・2後 1・2前	2								時間割の都合上	
		小計 (3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0		
	心と身体	健康論	1・2後 1・2前	2								時間割の都合上	
体育実技		1・2前後	1								時間割の都合上		
心とからだA		1・2前	2										
心とからだB		1・2後	2										
小計 (4科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0				
キャリア系	キャリアデザイン	1前	2										
	ライフデザイン	1後	2										
	ビジネスマナー概論	1前	2										
	ビジネスマナー実習A	1・2前	2										
	ビジネスマナー実習B	1・2後	2										
	社会人基礎A I	1前	2				2						
	社会人基礎A II	1後	2				2						
	社会人基礎B I	1前	2			1							
	社会人基礎B II	1後	2			1							
	生活と情報	1前	2										
	ビジネス文書作成	1・2前	2										
	ビジネスデータ分析	1・2後	2										
小計 (12科目)	—	14	10	0	1	2	0	0	0				
専門科目	英語 I	1前	2			2	1						
	英語 II	1後	2			2	1						
	英語 III	2前	2			2	1						
	英語 IV	2後	2			2	1						
	中国語 I	1前	2				1						
	中国語 II	1後	2				1						
	中国語 III	2前 1前 2後	2				1				レベル別授業のため配当年次を変更		
	中国語 IV	1後	2				1						
	ロシア語 I	1前	2										
	ロシア語 II	1後	2										
	ロシア語 III	2前 1前 2後	2								レベル別授業のため配当年次を変更		
	ロシア語 IV	1後	2										
	ロシア語 V	1前 1後 2前 1前 2後	2								レベル別授業のため配当年次を変更		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
	ロシア語Ⅳ	1後		2								レベル別授業のため配当年次を変更 レベル別授業のため配当年次を変更		
	メディア英語Ⅰ	1前		2										
	メディア英語Ⅱ	1後		2										
	時事英語Ⅰ	1前 2前		2		1								
	時事英語Ⅱ	1後		2		1								
	国際交流入門	2前		2										
	小計(21科目)	—	0	42	0	3	1	0	0	0				
	ビジネス系	生活と金融	未開講											履修希望者がいなかったため
		現代金融事情	1前		2		1							
		簿記Ⅰ	1前		2		1							
		簿記Ⅱ	1後		2		1							
		会社と経営	1前		2		1							
		マーケティング総論	1前		2									
ストアオペレーション		未開講		2								履修希望者がいなかったため		
流通販売総論		1後		2										
ビジネス関連法		未開講										担当者死去		
情報プレゼンテーション		1前		2										
観光サービス論		1後		2										
エアラインサービス		1前		2										
札幌学		1後		2		1								
小計(13科目)	—	0	26	0	4	0	0	0	0					
専門科目	ゼミナールⅠ	1前	2			6								
	ゼミナールⅡ	1後	2			6								
	ゼミナールⅢ	2前	2			6								
	ゼミナールⅣ	2後	2			6								
	地域社会実習A	1前		1										
	地域社会実習B	1後		1			1							
	地域社会実習C	1後		1										
	地域社会演習A	1前		2										
	地域社会演習B	1後		2										
	インターンシップ	1・2後		2			1							
	海外研修	1・2後		2			1							
	小計(11科目)	—	8	11	0	6	3	0	0	0				
	合計(72科目)	—	22	118	0	7	3	0	0	0				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 61	科目 0	科目 72	科目 11	科目 61	科目 0	科目 72	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	札幌大学と共用		
	校舎敷地	0㎡	90,142.00㎡	0㎡	90,142.00㎡			
	運動場用地	0㎡	91,804.36㎡	0㎡	91,804.36㎡			
	小 計	0㎡	181,946.36㎡	0㎡	181,946.36㎡			
	そ の 他	0㎡	66,528.17㎡	0㎡	66,528.17㎡			
	合 計	0㎡	248,474.53㎡	0㎡	248,474.53㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	札幌大学と共用			
	1,969.00㎡ (1,969.00㎡)	51,034.97㎡ (51,034.97㎡)	16,238.49㎡ (16,238.49㎡)	69,242.60㎡ (69,242.60㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	札幌大学と共用		
	68室	52室	5室	11室 (補助職員 2人)	5室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	キャリアデザイン学科			10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	
		冊	種	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	
	キャリアデザイン学科	54,199〔11,087〕 (53,011〔10,919〕)	264〔88〕 (264〔88〕)	〔 〕	828 (804)	( )	( )	
	計	54,199〔11,087〕 (53,011〔10,919〕)	264〔88〕 (264〔88〕)	〔 〕	828 (804)	( )	( )	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		札幌大学と共用		
	7,525.17㎡		687	80万				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			札幌大学と共用		
	4,897.97㎡		野球場	サッカー場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	電子ジャーナル等の経費は図書購入費に含まれていない共同研究費等については、札幌大学と共同
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	3,870千円	3,870千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	48,000千円	48,000千円	48,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,090千円	890千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		札幌大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	平成25年度より学生募集停止(全学部全学科)	
	年	人	年次人	人		倍				
経済学部経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	0.79	昭和42年	北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号		
外国語学部英語学科	4	-	-	-	学士(英語)	0.92	昭和42年			
外国語学部ロシア語学科	4	-	-	-	学士(ロシア語)	0.58	昭和42年			
経営学部経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	0.89	昭和43年			
法学部法学科	4	-	-	-	学士(法学)	0.76	平成元年			
文化学部文化学科	4	-	-	-	学士(文化学)	0.85	平成19年			
大学の名称		札幌大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号	
	年	人	年次人	人		倍				
法学研究科法学専攻	2	10	-	20	修士(法学)	0.25	平成9年			
経営学研究科経営学専攻	2	10	-	20	修士(経営学)	0.60	平成11年			
外国語学研究科英語学専攻	2	5	-	10	修士(英語学)	0.30	平成12年			
外国語学研究科ロシア語学専攻	2	3	-	6	修士(ロシア語学)	0.17	平成12年			
経済学研究科地域経済政策専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.20	平成13年			
文化学研究科文化学専攻	2	10	-	20	修士(文化学)	0.40	平成13年			
大学の名称		札幌大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号	
	年	人	年次人	人		倍				
英文学科	2	-	-	-	短期大学士(英文学)	0.19	昭和43年			
経営学科	2	-	-	-	短期大学士(経営学)	0.43	昭和57年		平成25年度より学生募集停止(全学科)	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の  
上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してくだ  
さい。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の  
平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置  
している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「-」とし，「備考」に「平成  
〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況  
 <キャリアデザイン学科>  
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	イヅミ カシ 泉 敬史 (54)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	教授	カヤマ ヒロキ 泉山 弘幸 (53)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 時事英語Ⅰ 時事英語Ⅱ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	教授	メシロ ヒロキ 金城 秀樹 (66)	平成25年4月	女性のための法律 札幌学 ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	教授	グリーン ウィリアム グリーン, ウィリアム (47)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
専任	教授	サトウ ヨシツグ 佐藤 芳次 (66)	平成25年4月	簿記Ⅰ 簿記Ⅱ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	教授	マツモト ゲンタロウ 松本 源太郎 <65>	平成25年4月	くらしと経済 生活と金融 現代金融事情 ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	教授	ミヤギ ヨシオ 三ツ木 芳夫 (64)	平成25年4月	会社と経営 日本の歴史 社会人基礎BⅠ 社会人基礎BⅡ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ						
専任	准教授	ハベ ヒロユキ 長谷部 宗吉 (65)	平成25年4月	社会人基礎AⅠ 社会人基礎AⅡ インターンシップ						

5 教員組織の状況  
 <キャリアデザイン学科>  
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	ブ라운 デイアン ブラウン、ダイアン (48)	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 地域社会実習B						
専任	准教授	マツダ ジュン 松田 潤 (65)	平成25年4月	社会人基礎AⅠ 社会人基礎AⅡ 海外研修						
兼任	講師	イシウメ 飯田 梅子 (39)	平成25年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ						
兼任	講師	イノウエ アツコ 井上 敦子 (57)	平成25年4月	ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ						
兼任	講師	イノウエ ショウ 井上 繁夫 (63)	平成25年4月	地域社会実習C						
兼任	講師	イワノ ユキ 岩倉 由貴 (32)	平成25年4月	マーケティング総論						
兼任	講師	イヅウ ケイジ 梶浦 桂司 (45)	平成25年4月	ビジネス関連法						死去
兼任	講師	カハラ ケイジ 河村 康泰 (47)	平成25年4月	心とからだA						
兼任	講師	クニノリ カミ 工藤 孝史 (59)	平成25年4月	哲学のすすめ						
兼任	講師	クニノリ トシヒコ 工藤 利彦 (58)	平成25年4月	自然と人間 生物の社会						
兼任	講師	クニノリ コエ 久野 弓枝 (45)	平成25年4月	地域社会実習A 国際交流入門						
兼任	講師	ゴトリ ヨシユキ 後藤 善久 (47)	平成25年4月	メディア英語Ⅰ メディア英語Ⅱ						
兼任	講師	コヤマ シゲル 小山 茂 (48)	平成25年4月	キャリアデザイン 生活と情報 ライフデザイン 地域社会演習B ビジネスデータ分析						
兼任	講師	チバ ヒロマサ 千葉 博正 (65)	平成25年4月	流通販売総論						
兼任	講師	チュウバチ レイジ 中鉢 令兒 (64)	平成25年4月	観光サービス論						
兼任	講師	カハラ フミオ 東原 文郎 (35)	平成25年4月	地域社会演習A						
兼任	講師	ナカガト ノブミ 中里 のぞみ (52)	平成25年4月	エアラインサービス						
兼任	講師	スマダウ タカ 沼澤 拓也 (46)	平成25年4月	ストアオペレーション						
兼任	講師	ハヤシ ケンゾウ 林 研三 (62)	平成25年4月	くらしと社会						
兼任	講師	ハヤシ ユウコ 早矢任 有子 (48)	平成25年4月	環境といのち						
兼任	講師	ヒジカサ ナオコ 土方 直子 (47)	平成25年4月	ビジネスマナー概論 ビジネスマナー文書作成 ビジネスマナー実習A ビジネスマナー実習B						

5 教員組織の状況

<キャリアデザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ホエ イチ 堀江 育也 (39)	平成25年4月	社会人基礎B I 社会人基礎B II 情報プレゼンテーション						
兼任	講師	ホチウ テツ 堀川 哲 (66)	平成25年4月	倫理と社会						
兼任	講師	ホンダ ユウコ 本田 優子 (55)	平成25年4月	歴史と文化						
兼任	講師	ヤマダ ミツグ 安田 貢 (43)	平成25年4月	体育実技						
兼任	講師	ヤマダ ミヨ 山田 実千代 (62)	平成25年4月	心とからだB						
兼任	講師	コメタ ヒロシ 米田 浩 (58)	平成25年4月	健康論						
兼任	講師	リキヨミン 李 景辰 (66)	平成25年4月	コリア語 I コリア語 II						
兼任	講師	ワタベ アサミ 渡部 あさみ (36)	平成25年4月	世界の文学						

(注)

- 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 (△)学科の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。



(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	0	0	10	7	3	0	0	10		
( 7 )	( 3 )	( 0 )	( 0 )	( 10 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	65歳	5名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	該当なし		
2			
3			

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <キャリアデザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況            平成25年4月からのキャリアデザイン学科開設に併せて全学意思決定プロセスを見直し、教育・研究の推進を図るため現状を的確にとらえた迅速な意思決定が行えるよう、意思決定の主体を学長及び教授会に集約した。            本学のFD活動は従来、札幌大学が設置するFD推進委員会(構成メンバーは専任の教職員及び学生)に加わる形で運営されてきたが、平成25年度からの新組織体制においては、学科教授会が中心となり、1学群体制に改編した大学のFD推進プロジェクトチームと連携を取りながら運営することとした。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)            適宜教授会における議論を経て運営している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生FD推進委員会の支援(学生発案型授業への取組み、学生FDサミットへの参加等)</li> <li>・ 教員の授業改善に向けた取組み(公開授業・検討会の実施、授業改善アンケートの実施等)</li> <li>・ 平成25年度大学間連携共同教育推進事業(東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの向上)の推進</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容            (平成25年度計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業評価アンケートの実施</li> <li>・ 学外FD協議会及び学生FDサミットへの参加</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学長の下、組織的に事業を展開する。</li> </ul> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)            平成25年度が開設年度のため現時点では実施に至っていない。            (参考)平成24年度の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD講演会(公開コンサルテーションの概要とコンサルティングの実際)開催 16人</li> <li>・ 公開授業・検討会 全学部対象</li> <li>・ 学生FD委員会主催によるカフェプロジェクト(2回)及びトーク会(1回)実施</li> <li>・ 学外FD協議会及び学生FDサミットへの参加</li> <li>・ 授業評価アンケートを、全専任教員を対象に、春・秋学期毎に中間・期末のそれぞれ2回実施(評価結果はe-Bookとして刊行した)</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況            平成25年度が開設年度のため現時点では実施に至っていない。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成25年度が開設年度のため現時点では実施に至っていない。

b 教員や学生への公開状況，方法等

平成25年度が開設年度のため現時点では実施に至っていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、平成25年4月より短期大学教育の伝統である教養教育を保持しつつも、キャリア形成の基盤促成に比重をシフトし、従来型の2学科(英文学科・経営学科)を1学科(キャリアデザイン学科)へと改組転換した。「主体性をもって、現代社会を生き抜く教養を備え、他者とのきずなを育みながら協働し、公共の基盤を下から、誠実に支える気概をもって、地域社会を共創する人材の育成・輩出」を目指すこととした。その際、体験知を重視する観点からアクティブラーニング、サービラーニングの科目を充実させ、「出会いプログラム」と「体験プログラム」を立ち上げるとともに、就職活動スーツの企業とのコラボ製作、大学に併設されるINPO法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ主催の「こどもパートナー講座」、短期海外留学などへの積極的参加を強く推奨してゆくこととした。さらにまた、週2回の語学教育を2年間義務づけるだけでなく、時間割外の「朝塾」や「語学アワー」への参加を促し、コミュニケーション能力の促進に努めることとした。

新学科にあっては、科目担当予定者(兼任講師)の急逝という不測の事態と入学定員の未充足による科目履修者数僅少という問題があったものの、概ねスムーズにスタートを切ることができた。次年度以降は何よりも定員充足に最大限の努力が払われなければならない。そのためには設置趣旨および教育内容の周知と理解にいつそう邁進し、新たな理念に基づく教育研究の促進と学生サービスの充実はもとより、進学相談会、高校訪問、オープンキャンパス等の学生募集活動に総力をあげて取り組んでゆく決意である。

今年度は開設初年度であり、開設後2か月足らずの現段階で達成状況を詳述することは難しい。しかし爾後随時、設置の趣旨・目的およびその達成手段である教育課程の履行状況を点検・検証し、設置計画を着実に履行していくつもりである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成25年度中を予定

b 公表方法

・ホームページにて公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に認証評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

( 平成25年6月 )